

施策評価表			後期 《平成28年度～令和2年度》	
計 後 画 期 体 基 系 本	政策	2. 未来の担い手と共に育つまち【子ども】	施策統括課	子育て支援課
	施策	5. 子どもを安心して生み育てることができるまちをつくる	関係課	学校教育課・健康課・社会教育課 住民課・福祉課

1. めざそう値からみた達成度

成果指標	単位	基準値	H30目標値	実績値の年次推移	判定
		目標	H30実績値		
子どもを育てやすいまちだと答えた保護者の割合 (町民意識調査)	%	70.6	70.6 より上		b
		↑	67.1		
合計特殊出生率	-	1.77	1.80 より上		-
		↑	-		

めざそう値達成度：a…目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない c…目標を達成していない

2. 取り組み方針の実施状況と方向性

5-1 子育てしやすい保育環境を整えます					所管課					
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位 (57項目中) 保育環境の整備 6位/36位					子育て支援課					
成果指標	単位	基準値	目標	区分	実績値の年次推移					判定
					H28	H29	H30	H31/R1	R2	
子どもを育てやすいまちだと答えた保護者の割合 (町民意識調査)	%	70.6	↑	目標値	70.6	70.6	70.6	-	-	×
				実績値	64.3	61.9	67.1	-	-	
合計特殊出生率	-	1.77	↑	目標値	-	-	1.80	-	-	-
				実績値	-	-	-	-	-	
保育園の待機児童数	人	49	0	目標値	0	0	0	-	-	×
				実績値	45	41	57	-	-	
学童保育所の待機児童数	人	25	0	目標値	0	0	0	-	-	×
				実績値	0	14	24	-	-	
成果指標達成度：○…目標を達成している ×…目標を達成していない					成果指標総合判定					
成果指標総合判定：A…成果指標判定がすべて○、B…半数以上が○、C…半数未満が○					C					

まちが取り組むべきこと①		保育ニーズの多様化や社会環境の変化に対応しながら、乳幼児の一時預かりや幼児期の教育・保育及び学童保育など、育児支援の充実をはかり、待機児童のない保育環境を整えます
主な取り組み状況		<ul style="list-style-type: none"> ・町立亀山保育園の民営化を進め、H30年4月から新たな社会福祉法人による運営を開始した。このことに伴い、H31年度4月より定員を60名増員することを目的の一つとして、園舎の建替えを行った。 ・学童保育の安定的運営のため、委託先変更の事務を行い、H30年4月から新たな運営事業者により運営を開始した。 ・学童保育の待機児童解消に向けた、関係各課による施設新設等の協議を行った。
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の待機児童については、小規模保育施設や企業主導型保育施設が増え、またH31年4月にはかめやま保育園が定員60名を増員しているところであるが、いまだ24名（前年度比▲33名）の待機児童が発生している状況である。特に1・2歳児の待機児童が多く発生している状況である。 ・学童保育の待機児童については、定員（420名）を上回る受入（480名）を行ったが、H31年4月現在72名（前年度比+48名）の待機児童が発生している状況であり、その中でも中央学童・西学童では3年生でも待機がでている状況である。
R2年度取り組み方針		保育園や学童保育の待機児童解消のため、施設整備を含めR2年度以降の待機児童解消に向けた取り組みを行う。
まちが取り組むべきこと②		保育士の人員確保と資質向上につとめ、保育内容の充実をはかります
主な取り組み状況		<ul style="list-style-type: none"> ・H31年4月採用の正規職員保育士の採用試験を実施し、1名の採用を行った。 ・嘱託職員保育士の雇用確保のため、ポスター作製や電話等による勧誘を行った。 ・町立保育園の保育士に対する独自研修の実施や研修参加を計画的に行った。 ・適切な保育等の提供のため、認可保育園等については県と合同で指導監査を行っている。
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・保育士不足（嘱託職員の応募数減・休職に伴う代替保育士の未補充） ・研修機会の（人的・時間的）確保困難
R2年度取り組み方針		・R2年度から開始予定の会計年度任用職員制度について、私立保育園等の給与水準を勘案し、保育士の雇用確保につながるよう制度設計を行う。
取り組み方針の達成状況		
<input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どりの成果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない		
R2年度の取り組み方針の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 重点 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> その他

5-2 子育てに関する情報提供や相談・交流できる環境をつくります					所管課					
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位 (57項目中) 子育ての情報提供や相談・交流 39位/34位					子育て支援課					
成果指標	単位	基準値	目標	区分	実績値の年次推移					判定
					H28	H29	H30	H31/R1	R2	
子育て支援センター、子育てサロン、子育て教室等の年間延べ利用者数	人	2,305	↗	目標値	2,324	2,324	2,435	-	-	○
				実績値	2,435	6,084	8,012	-	-	
子育てモバイル登録者数	人	-	↗	目標値	-	420	726	-	-	○
				実績値	726	928	1114	-	-	
成果指標達成度：○…目標を達成している ×…目標を達成していない					成果指標総合判定					
成果指標総合判定：A…成果指標判定がすべて○、B…半数以上が○、C…半数未満が○					A					

まちが取り組むべきこと①		「子育て支援センター」を地域の子育て支援の拠点として、子育て家庭が孤立することなく情報提供や相談・交流できる環境を充実させます
主な取り組み状況		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターにおける、子育てに関する情報提供、また月齢や年齢に応じた講座や身近な子育て相談の充実を図った。 ・就学前の子どもと保護者を対象に、毎月1回子育て広場を開催。また、0歳児家庭を対象とした赤ちゃんサロンや、父親の気軽に参加できる読み聞かせ、協力団体の元、親子で楽しめる外遊び等を実施し、子育て家庭が交流しやすい場を提供した。 ・妊娠期から子育て期にわたるまでの総合的相談支援を実施する子育て世代包括支援センターを設置。
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターは、地域の子育ての支援の拠点として定着したが、支援センターにまで足を運ばない親子に関する安定した交流の場の提供が課題。 ・妊娠期から子育て期にわたるまでの総合的相談支援を実施する子育て世代包括支援センターの町民への周知。
R2年度取り組み方針		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターを地域の子育て拠点としてさらに充実させるとともに、地域での交流の場の拡充を図る。 ・妊娠期から子育て期にわたるまでの総合的相談支援を実施する子育て世代包括支援センターの周知を図るとともに、関係機関との連携により状況に即した支援に努める。
まちが取り組むべきこと②		子育てに関する情報提供と学習機会の充実をはかります
主な取り組み状況		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターにおいて、子育てに関する様々な情報の提供や、年齢や用途に応じた講座を実施した。 ・子育てに関わる情報を掲載した小冊子を官民共同で作成し、子育て支援センターや健康課窓口で配布した。 ・予防接種のスケジュールや子育てに関する情報などを携帯端末に配信する情報配信サービスを行った。 ・子どもの成長に合わせた子育ての悩みを解消するための教室を行い、参加された方の交流を促し、子育てを共感し学び合う環境を作っている。
課題		・子育ての悩みを解消するための教室の参加者の満足度は高いが参加者が限られている。
R2年度取り組み方針		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子育てに関する情報提供と学習機会の充実を図っていく。 ・携帯端末への配信情報の充実に努め、引き続き配信サービスを行う。
まちが取り組むべきこと③		子育て中の保護者の悩みや相談に応じる子育て相談の充実をはかります
主な取り組み状況		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターに訪れる保護者の相談も受けるとともに、月1回赤ちゃんサロンに保健師が入り相談を受けることで相談者が増加した。 ・子育てホットラインの相談者は、相談機関の多様化により減少傾向であることなどから、子育てホットラインをH30年度末をもって廃止とした。 ・健診などの機会に悩みなどの相談ができるように努め、状況に合わせて個別の相談、訪問等を行っている。
課題		・相談できる機関が多様化しており、更なる連携が必要。
R2年度取り組み方針		子育てに関する相談の充実のため、専門職員の雇用や相談体制を整備するとともに、各相談機関との連携を図り実施していく。
取り組み方針の達成状況		
<input checked="" type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない		
R2年度の取り組み方針の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 重点 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> その他

5-3 地域で子育てを支援する場・機会をつくります						所管課				
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位 (57項目中) 地域で子育てを支援する機会づくり 42位/38位						子育て支援課				
成果指標	単位	基準値	目標	区分	実績値の年次推移					判定
					H28	H29	H30	H31/R1	R2	
子育てサロン等開催回数	回	4	↑	目標値	4	4	4	-	-	×
				実績値	4	6	4	-	-	
成果指標達成度：○…目標を達成している ×…目標を達成していない						成果指標総合判定				
成果指標総合判定：A…成果指標判定がすべて○、B…半数以上が○、C…半数未満が○						C				

まちが取り組むべきこと①	親子が地域で集う場を充実させ、地域での子育て支援活動やボランティア活動を支援します	
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会が、地域で子育てサロンを行っている町内会に対し助成を行っている。 ・地域の公園等で、出張子育て支援センターを開催し、親子が地域で集える場を設けた。 	
課題	・地域での子育てサロンへの助成・育成は社会福祉協議会で行っており、子育て支援センター等との連携が必要。	
R2年度取り組み方針	・社会福祉協議会が行う地域福祉事業と協力・連携し、地域での子育て支援活動を支援する。	
まちが取り組むべきこと②	子どもや子育て家庭を支援するための地域主体の取り組みや活動に関わる人材・グループの養成を支援します	
主な取り組み状況	町内の子育てサークルで組織する「志免町子育てネットワーク」の活動に対する助成を行った。	
課題	「志免町子育てネットワーク」はR 1年6月をもって解散したため、新たな体制の構築など課題がある。	
R2年度取り組み方針	子育てに関する地域主体の取り組みを支援するとともに、活動に関わる人材・グループの養成について検討する。	
取り組み方針の達成状況		
<input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どりの成果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない		
R2年度の取り組み方針の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 重点 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> その他	

5-4 子どもの発達に応じた支援を充実させます						所管課				
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位 (57項目中) 障がい児と発達が気になる子どもへの支援 21位/53位						福祉課				
成果指標	単位	基準値	目標	区分	実績値の年次推移					判定
					H28	H29	H30	H31/R1	R2	
子どもの発達に関する年間延べ相談件数	件	2,777	↑	目標値	2,777	3,891	4,029	-	-	○
				実績値	4,029	4,129	4,750	-	-	
児童発達支援及び放課後等デイサービスの延べ利用者数	人	133	↑	目標値	133	162	193	-	-	○
				実績値	193	203	261	-	-	
成果指標達成度：○…目標を達成している ×…目標を達成していない						成果指標総合判定				
成果指標総合判定：A…成果指標判定がすべて○、B…半数以上が○、C…半数未満が○						A				

まちが取り組むべきこと①		保育園・幼稚園における障がい児保育の充実をはかります
主な取り組み状況		<ul style="list-style-type: none"> ・町立保育園の加配保育士の配置や、私立教育保育施設の加配保育士配置に対する助成を行った。 ・町内の保育園・幼稚園に対し、臨床心理士による巡回指導を行い、専門的な助言や相談に応じ障がい児に対する保育の充実を図った。 ・H31年度から企業主導型保育施設（11園）においても巡回指導が実施できるよう、臨床心理士1名の確保を行った。
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・対象児童の増加に対する加配保育士の確保が難しくなっている。 ・巡回指導時の対象児童が増加している。
R2年度取り組み方針		・保育園等に対する障がい児保育の巡回指導の体制強化を図るとともに、加配保育士の確保を積極的に行い、保育園・幼稚園における障がい児保育の充実を図る。
まちが取り組むべきこと②		小中連携による個のニーズに応じた特別支援教育を推進します
主な取り組み状況		<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいなどがある児童生徒の支援のため学級補助員を配置するとともに、個別支援計画や指導計画を作成し、児童生徒の個のニーズに応じたきめ細やかな支援を行った。学級補助員を1名増員し、中学校へ配置した。 ・特別支援学級相談員を配置し、教員に対する助言や指導を行うことにより、教員の特別支援教育に関する指導力向上を図った。
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な児童生徒が増加傾向にあり、学級補助員の人員増が求められている。 ・支援が必要な児童生徒を指導する教職員及び学級補助員の指導力の向上が必要。
R2年度取り組み方針		<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいなど支援が必要な児童生徒のため、学級補助員を配置する。 ・各校で特別支援教育に係る研修を実施し、教職員らの理解を深め、適切な指導につなげる。 ・特別支援学級相談員の助言等により教職員らの指導力向上を図る。 ・小中連携を含め、関係機関との連携を進めることにより、義務教育9年間を見据えた日常的・継続的な支援の充実に努める。
まちが取り組むべきこと③		療育・相談体制を充実させるなど、障がい児・発達が気になる子どもへの一貫性のある支援を行います
主な取り組み状況		<ul style="list-style-type: none"> ・就学前から就学後まで切れ目ない支援を行うため、関係課や関係機関との協議を行った。 ・障害のある子どもなどの就学について、相談会実施や就学指導委員会設置などにより、就学に関する支援を行った。 ・保育園や幼稚園を対象に、共通理解を図るため、就学相談体制や就学先決定の流れについて説明会を実施した。 ・健診等で発達の気になる子どもの保護者に対し、心理相談員による育児や発達に関する相談を行い、支援が必要な子どもについては専門の医療機関の紹介を行った。 ・町内の児童発達支援、放課後等デイサービス事業所に集まってもらい発達支援ネットワーク連絡会を開催した。 ・相談体制は、障害児相談事業としてこども発達相談「すりーる」に委託した。また、障害者相談事業所の「ゆい」、「すまいる」でも児童やその保護者からの相談を受けた。 ・R1年度からの相談体制について、新たな相談体制構築のため西南学院大学と協議を行い、31年4月から福祉課内にこども発達相談（しめっこ相談）を設置することになった。
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校へ入学する前に、障がい児や発達が気になる子どもに関して、保護者からの相談がなかったり、幼稚・保育園との情報共有ができていないこともある。 ・他課との連携及び、情報共有体制を確立し、切れ目のない支援ができるようなしくみをつくることが課題である。
R2年度取り組み方針		<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診のフォローとして、心理相談員による相談だけでなく、作業療法士等の他職種による相談を継続して行う。 ・切れ目ない支援を行うための情報共有など、庁内関係課を含め関係事業所との連携体制を確立する。
取り組み方針の達成状況		
<input checked="" type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない		
R2年度の取り組み方針の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 重点 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> その他

5-5 親と子の健康を維持・増進します						所管課				
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位 (57項目中) 親と子の健康の維持・増進 48位/44位						健康課				
成果指標	単位	基準値	目標	区分	実績値の年次推移					判定
					H28	H29	H30	H31/R1	R2	
乳幼児健診受診率	%	95.4	→	目標値	95.4	95.4	95.4	-	-	○
				実績値	95.0	98.3	97.6	-	-	
成果指標達成度：○…目標を達成している ×…目標を達成していない										成果指標総合判定
成果指標総合判定：A…成果指標判定がすべて○、B…半数以上が○、C…半数未満が○										A

まちが取り組むべきこと①	母子に対して、健康診査・予防接種を充実させます	
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診は集団で行い、兄弟児の託児を行うことで、受診しやすい健診体制作りを努めた。 ・予防接種はモバイルサービスなどでスケジュール管理し、接種漏れのないようにしている。 	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診については、検診後のフォローや未受診の方への連絡や受診勧奨に苦慮している。 	
R2年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診については、母子の状況把握など、きめ細やかな対応ができるよう引き続き健診体制を整えていく。 	
まちが取り組むべきこと②	妊娠期からの切れ目ない支援を行います	
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠初期から支援の必要なケースは個別で係わり、マタニティ教室や0歳児親子教室などで子育てに関する準備や情報を伝え、不安なく子育てができるよう支援している。 	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期からの支援の必要なケースや育児サポートがないケースが増えてきている。 	
R2年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期からのサポート体制を整え、産前から産後まで切れ目のない継続的な支援体制を整えていく。 	
取り組み方針の達成状況		
<input checked="" type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない		
R2年度の取り組み方針の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 重点 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> その他	

5-6 出産や育児の負担を軽減します					所管課					
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位 (57項目中) 出産や育児にかかる経済的負担などの軽減 7位/56位					子育て支援課					
成果指標	単位	基準値	目標	区分	実績値の年次推移					判定
					H28	H29	H30	H31/R1	R2	
子どもを持つ不安として経済的な理由を挙げた若年女性(18~39歳)の割合(町民意識調査)	%	63.3	↓	目標値	55.7	55.7	55.7	-	-	×
				実績値	58.8	65.2	57.9	-	-	
出産・育児休暇等の制度があると答えた町民の割合(町民意識調査)	%	56.1	↑	目標値	56.1	56.1	58.4	-	-	×
				実績値	58.4	54.5	54.9	-	-	
成果指標達成度：○…目標を達成している ×…目標を達成していない									成果指標総合判定	
成果指標総合判定：A…成果指標判定がすべて○、B…半数以上が○、C…半数未満が○									C	

まちが取り組むべきこと①	医療費無料対象年齢の引き上げなど、子どもの医療費負担軽減をはかります
主な取り組み状況	医療費の助成については、H28年10月に県とともに町も制度改正を行っている。 【県の制度】入院・通院ともに3歳まで無料、3歳以上から小学校6年生までは一部助成(改正前は小学校就学前まで) 【町の単独】入院については、中学3年まで一部助成(改正前は小学6年まで)
課題	なし
R2年度取り組み方針	・更なる自己負担額の軽減等については、県の動向を注視しながら近隣市町と連携を図る。
まちが取り組むべきこと②	ひとり親家庭など援助を必要とする家庭への支援を充実させます
主な取り組み状況	・産前・産後やひとり親家庭など支援が必要な世帯に対しヘルパー派遣を行った。 ・生活保護や住民税非課税世帯(未婚の女子などみなし寡婦控除を含む)に対する学童保育の保育料減免についてH30年度から実施した。
課題	・既存の事業だけでなく、関連する他施策での展開が必要。
R2年度取り組み方針	既存事業については、近隣自治体との水準を勘案し見直しを検討するとともに、ひとり親家庭等の支援の充実は子どもの貧困対策にもつながるため、関連する他の施策についても実施を検討していく。
取り組み方針の達成状況	
<input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どりの成果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない	
R2年度の取り組み方針の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 重点 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> その他

3. 施策の総括と今後の展開

めざそう値「子どもを育てやすいまちだと答えた保護者の割合」は減少傾向が続いていたがH30年実績値は67.1%と前年度から5.2ポイント上昇した。しかしH30年目標値70.6%より上に対しては目標を達成できなかった。子育て支援センターや子育て世代包括支援センターの設置など子育てに関する相談体制の充実や子ども医療費の負担軽減など、様々な施策は進めているものの、保育園や学童保育所の待機児童が解消されていないなど、利用希望者が実質的にサービスを受けることができない状況が続いていることが影響しているのではないかと推測するところである。

そのため、ハード面・ソフト面を含めて各待機児童解消に向けた取り組みを加速させるとともに、一人ひとりの子どもの環境や特性に応じた支援や相談を行える体制づくりを推進することが必要である。

4. 施策の進行状況

<input type="checkbox"/> 目標に向かって順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 目標に向かってある程度順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 目標に向かってあまり進んでいない <input type="checkbox"/> 目標に向かって進んでいない
--